

老健類型の超強化型を維持するために

有光亜希 [ありみつ・あき]

介護老人保健施設リゾートヒルやわらぎ（高知県）



はじめに

私が支援相談員として当施設に入職したのは2017年ですが、実は当施設の開設当初に介護福祉士として勤務していました。当施設を一度退職したのち、別法人の居宅介護支援事業所や障害福祉サービス事業所に勤務していました。その間、介護支援専門員の資格や、相談援助職としての専門性を高めたいと社会福祉士の資格を取得しました。

障害福祉サービス事業所を退職して職探しをしていた際に、ハローワークの方に当施設の支援相談員職を紹介されました。資格があるだけで初めての職種なのに私にできるのだろうか？と不安もありましたが、これも何かの縁だと思い、支援相談員としてやわらぎに2度目の就職をしました。

施設紹介

当施設がある芸西村は、東西に長い地形の高知県の東部にあります。海と山に囲まれ、ナスやピーマン、^{かき}花卉などビニールハウスによる施設園芸が盛んな地域で、人口は3,567人、高齢化率は37.15%（2025年5月末時点）の小さな村です。当施設は小高い丘の上にあり、2階建ての建物の東側は海で、全面ガラス張りになっており、景色がよく見渡せます。現在、高規格道路の整備中で、景色も少しずつ変化しています。2階のホールは北側にも大きな窓があるので、四季折々の山の様子が見える環境です。

当法人は芸西病院（医療療養病棟・認知症治療病棟・精神科病棟・精神療養病棟）や訪問看護ステーションげいせい、訪問リハビリげいせい、居宅介護支援事業所みずき、グループホームげいせいを併設。やわらぎは1998年1月に開設され、今年で開設27周年

になりました。利用定員は入所70名（短期入所も含む）、通所リハビリが40名で、在宅復帰・在宅療養支援等指標による施設類型では超強化型施設になります。

業務内容

業務内容としては、利用相談対応、入退所調整、検討会資料の準備、利用開始時のオリエンテーション、契約を行います。入退所前後訪問指導の調整、訪問時の車の運転、訪問指導時の進行役も務めます。入所後に入所後訪問指導を実施し、ご家族と一緒に自宅退所に向けて不安に思われていること、生活改善目標などを確認し、その後は必ず情報をまとめてご家族と共有し、退所に向けて態勢を整えていきます。話の内容が伝わっているとご家族の安心感にもつながると思います。

退所前訪問指導時にご家族との連絡調整、居宅ケアマネジャーや他の在宅サービス事業者との連携、必要時には社会資源の情報提供も行います。やわらぎ入所を経由して自宅での生活を再スタートされるので不安などがないようにていねいに対応し準備していきます。

医療機関との連携では、診療情報提供書依頼や医師の指示での他科受診調整、他にもカンファレンスやサービス担当者会議、各種委員会への参加もあります。また、地域貢献活動への参加等、業務は多岐にわたります。

調整業務をする機会も多いですが、ICTの導入でインカムを使用するようになり、以前のように各専門職へ電話連絡もしくは探しに行き伝えることはなくなりました。また記録の電子化により、以前のように記録のために順番待ちをする必要もなく、業務の効率